

町の観光振興に役立てて (株)千穂の家寄付金贈呈

7月17日、(株)千穂の家より高千穂町へ寄付金の贈呈があり、佐藤陽介取締役常務より町長へ目録が渡されました。

佐藤取締役常務は挨拶で「笑顔でおもてなしをし、お客様に笑顔で帰ってもらうことを心掛けています。まずは、町民の皆さまに笑顔になってもらうためにも、町の観光振興に役立ててもらいたい」と述べていました。



人々の健康増進・疾病予防に寄与したい JICA青年海外協力隊派遣前表敬

JICA海外協力隊の青年海外協力隊として派遣される、県立延岡しろやま支援学校高千穂校所属の芝裕介さんが、派遣前の表敬訪問を行いました。

JICA海外協力隊は、開発途上国からの要請に基づき経験や技術等を生かしたい人材を派遣する事業で、芝さんは今回、養護教諭の経験を活かし、保健関係の統計管理や地域住民への保健指導の活動のため、東ティモールへ2年間派遣されます。



左から2番目が芝裕介さん

技術を高め、安全を守る 全国消防救助技術大会派遣選手選考会

7月2日、西臼杵広域行政事務組合消防本部(工藤誠也消防長で、第54回全国消防救助技術大会「ほぐく救出」の派遣選考会が行われました。

今回、4チームの中から、藤本尉公消防司令補、甲斐友喜消防士長、永澤順平消防士長が選ばれ、結束技術の精度や速度、安全性を更に高め、全国大会で入賞できるように頑張りたいと述べていました。全国大会は8月22日に新潟県で開催されます。



安心安全な地域社会づくり 社会を明るくする運動メッセージ伝達

7月1日、高千穂地区(西臼杵)保護司会(興枡久利会長)と高千穂(西臼杵)地区更生保護女性会(興枡恭子会長)が、第76回「社会を明るくする運動」のメッセージ伝達を行いました。

保護司会廣末弥壽雄高千穂支部長が総理大臣メッセージを、更生保護女性会富高リエ子三田井支部会長が県知事メッセージを読み上げ、犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更生への理解や協力をお願いしました。

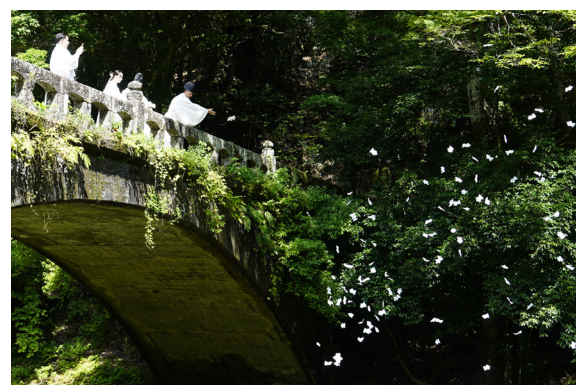


罪や穢れを払い、安全祈願 高千穂神社夏季大祭・夏越大祓

7月29日、高千穂神社(後藤俊彦宮司)で、夏季大祭と夏越大祓が行われました。

28日に発生した熊本地震で被害に遭われた方へ、1分間の黙とうを行った後に神事が行われ、大祓詞や祝詞奏上のあと、三田井地区神楽保存会による「沖逢」が奉納されました。

神事終了後、高千穂峡にて熊本地震への安全祈願も込めた「人形流し」が行われました。



悠久の森に咲く キレンゲショウマ特別公開

7月21日から27日まで、押方芝原西の烏屋岳悠久の森において、キレンゲショウマの特別公開が行われました。

紀伊半島や四国、九州山地の日陰で湿り気のある場所に自生するアジサイ科の多年草で、環境省の絶滅危惧Ⅱ種に指定されています。

悠久の森では、3cm程の黄色い花を付けた沢山のキレンゲショウマが、朝日に照らされ幻想的な景色を見せていました。



江戸時代より伝わる技を披露 高千穂古武道棒術の祭典

7月5日、三田井地区棒術保存会(佐藤哲章会長)による第16回高千穂古武道棒術の祭典が行われました。

棒術に触れてもらえる貴重な機会として、今年で16回目の開催。保存会員15人が、棒・白刃・天棒・長刀などの演目を解説付きで披露しました。祖父と演武を行った日向市在住の永野結哉さんは「棒術を初めて6、7年目。演武は疲れたが、あと10年は続けたい」と述べていました。



強く美しく 五ヶ所高原にヒメユリが开花

7月上旬、五ヶ所高原に県の指定希少野生動植物に指定されているヒメユリが开花しました。

五ヶ所高原はヒメユリの国内自生地との南限とされており、県の野生希少動植物重要生息地に指定されています。

五ヶ所高原の自然や動植物を守る活動をしている甲斐英明さんは「大事に守ってきたひめゆりが今年も咲いて安心した。希少な花なので、優しく見守って欲しい」と述べていました。

